



歴史・文化・思想から見る文学作品
理論・調査・実験で学ぶ言語科学

丹治 愛 教授

高松高等学校(香川県)出身
石田 美佑紀 さん(3年生)

大学入学資格検定 東京都出身
香野 章 さん(3年生)

石田さん:
英文学は文学作品を読むだけと思われがちですが、その周辺にある歴史や哲学まで学びが広がっています。演劇や映画、文化など様々な視点からアプローチした学びも魅力だと思います。

丹治教授:
色んなアプローチを用意して、英文学の関口を広げることで、多様化する学生の興味に応えているんですよ。

香野さん:
確かに、知識欲を満たすのに不自由しない学科だと思います。書籍は豊富に揃い、先生もこちらの質問にきちんと応えてくれます。また、作品を通して色んな気付きがあって、こちらが学べば学ぶほど、作品の解釈の可能性も高まるのが楽しいですね。

丹治教授:
社会にどう活きるのか疑問に思う人もいるかも知れませんが、文学作品を読み、そしてそれについて書く中で育まれる論理的な思考や表現力は、社会できっと役に立つはずです。

英文学科

Department of English

教育の理念

近年、世界は情報化と国際化が急速に進み、もはや英語はコミュニケーションの道具にとどまらず、現代文化を象徴する存在として、日本に暮らす私たちにも浸透しています。このような時代だからこそ、英語という言語について深く考え、未来を見通す視座をもつことが大切です。英文学科では、基礎となる英語学習に力を注ぐのはもちろん、英米の文学作品を原文で味わうことで異文化への柔軟な感性と冷静な批評眼を養い、英語の歴史や言語一般の仕組みを知ることで体系的・科学的に思考する力を形成するのを目標としています。ひとことでいえば、英語を通じて地域を越えた人類の叡智に迫ることができるのです。



英文学科の特徴

本学科の特徴は、実践的な英語力の訓練を受けられるだけでなく、人文科学的観点から英米圏の文化・文学を学んだり、社会・自然科学的な観点から言語や教育を学んだりできることです。文学系・英語学系・言語学系の3分野からなる本学科は、文系・理系にまたがり、自分の興味と能力に合った学問領域に出会える学科といえるでしょう。

POINT 1 SAプログラムで異文化を体験

密度の高い英語の授業と異文化体験によって、世界に通用するコミュニケーション力と適応力を身につけるSA(Study Abroadの略)プログラムでは、毎年20~30名程度の学生が海外で英語漬けの生活を楽しています。

POINT 2 英会話・作文・翻訳の力を伸ばす

2年次から履修できる「英語表現演習」では、ネイティブ・スピーカーを中心とする講師陣が小規模クラスで会話力と作文力を伸ばします。さらに「翻訳演習」では、実用翻訳と文芸翻訳、および字幕翻訳を専門とする講師が指導。

POINT 3 多彩なゼミから関心があるものをじっくりと

3年次より所属し、専門分野をじっくり学ぶ演習(ゼミ)は全12種類。イギリス文学・アメリカ文学・英語学などさまざまな分野をカバーしているので関心にあったゼミを履修できます。4年次は所属ゼミの教員が卒業論文を指導します。

POINT 4 基礎から専門まで網羅する授業体系

1年次の春学期は授業ノートのとり方やレポートの書き方などを小規模クラスで集中的に習得。3年次からは大学院の授業を履修できる制度もあり、1年次から大学院まで体系的かつ個々の学生の必要に沿った学びが可能です。

4年間の学びの流れ／カリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次
専門科目	学びのステップ	大学の学びに必要な知識を習得するほか、「英語学概論」「英米文学講義」など専門講義の履修も可能。夏休みには、海外に3週間滞在して英語を習得するSAプログラムも利用できます。	ゼミを選択する2年次の終わりでさまざまな専門分野に触れていきます。夏休みのSAプログラムに加え、4ヶ月間を海外で学習する長期のSAプログラムも利用可能に。	所属ゼミ(演習)で学習・研究を行います。さらに、卒業論文を除くすべての専門科目や、英文学専攻の大学院科目も履修可能です(担当教員の了承が必要)。	4年間の学びの集大成として卒業論文の執筆に励みます。また、専門の研究に興味のある学生は、書類審査と面接で大学院に進学できる内部進学制度を利用できます。
	必修科目	卒業論文			
	選択必修A	英語学概論A・B 言語学概論A・B 英米文学講義I A・B、II A・B 英語音声学A・B 演劇講義A・B 英語史A・B 英文学史A・B 米文学史A・B 英語・言語学講義A・B 英語・言語学特殊講義A・B 比較文学A・B 比較文化論 認知科学入門 言語学特講I・II 人工知能 English around the World Sociolinguistics 英米文学特殊講義I~IV 文学研究方法論A・B 社会言語学 応用言語学 英語学講義A・B 言語学講義I A・B SA認定科目(A)			
		言語学講義II A・B			
	選択必修B	英語表現演習(Writing)1~9 A・B 英語表現演習(Speaking)1~9 A・B 英語表現演習(翻訳)1~2 A・B Race, Class and Gender I・II Website Construction 時事英語演習A・B SA認定科目(B) Film Theory and Analysis 海外英語演習			
	選択必修C	2年次演習1~6 シェイクスピア講義A・B SA認定科目(C) <ゼミナール> 英語学演習1~2 A・B 言語学演習1~2 A・B 英語教育学演習A・B 英米文学演習1~9 A・B <大学院公開科目>			
	選択科目	心理学概論 心理学史 脳の科学 認知心理学 発達心理学 教育心理学 学習心理学 ドイツ語 中国語 美学・芸術学1・2 社会思想2(社会思想史)1・2 文化史1・2 美術史(西洋)A・B 応用プログラミングI・II ドイツの思想I・II ドイツの文学I・II ドイツの芸術I・II ドイツ語講義I・II ラテン語I・2 日本文芸史I A・B 日本文芸史II A・B 言語論 データ処理論I・II ネットワーク論I・II Business English I・II English for Certifying Exams: High Intermediate I・II English for Certifying Exams: Advanced I・II Cultures of the English-Speaking World I・II Comparative Cultural Studies I・II Aspects of Modern Society I・II ヤリヤの文化と社会 キリスト教思想論 北欧の言語と社会 異文化コミュニケーション論 論理って何だ? コンピュータの裏側 確率・統計 集合論 ドイツの文化と社会I・II			
		情報科学実習I・II プログラミング言語I・II			
	自由科目	英語科教育法I・II 社会貢献・課題解決教育 <文学部共通科目> 現代のコモンセンス 民俗学I・II イスラム世界論I・II 環境と倫理1・2 <総合科目> マス・メディア論 言語文化論I・II 文化人類学 歴史地理学1・2 映像文化論 文学部生のキャリア形成 <文学部内他学科公開科目> <他学部公開科目>			
	市ヶ谷基礎科目	<基礎科目> 法政学への招待 基礎ゼミI・II キャリアデザイン入門 就業基礎力養成I・IIなど約90科目から選択			

※カリキュラム表および科目名は、変更になる場合があります。